

2023年度 エコアクション21・環境経営レポート

(対象期間：2023年10月～2024年9月)



発行日：2025年1月16日



目次



1. 環境方針
2. 組織概要
3. 実施体制・権限
4. 環境目標
5. 環境目標の実績
6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組
7. SDGsの取組
8. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無
9. 代表者による全体の評価と見直し

1. 環境方針



< 基本理念 >

株式会社 タニックスは環境が重要な経営価値と認識し、積極的に地球環境保全活動に努めるべく意識度の高い企業を目指します。

< 基本方針 >

株式会社 タニックスは、商業活動において環境保全を重要課題と認識して、以下の方針に基づき積極的に環境の保全・創造を推進し継続的改善に努めます。

(1) 事業活動に伴う環境負荷を低減するために、次の活動を積極的に推進します。

1. 二酸化炭素排出量の削減
2. 廃棄物の削減
3. 水使用量の削減
4. グリーン購入の推進
5. 環境配慮型商品の販売

(2) 環境関連法規等及び当社が同意するその他要求事項を順守し、環境保全に努めます。

(3) 環境方針は当社で働く全ての人に周知すると共に、広く社外にも公開します。

2015年4月1日制定

2018年10月1日改定

株式会社 タニックス

代表取締役 **坂本 利之**

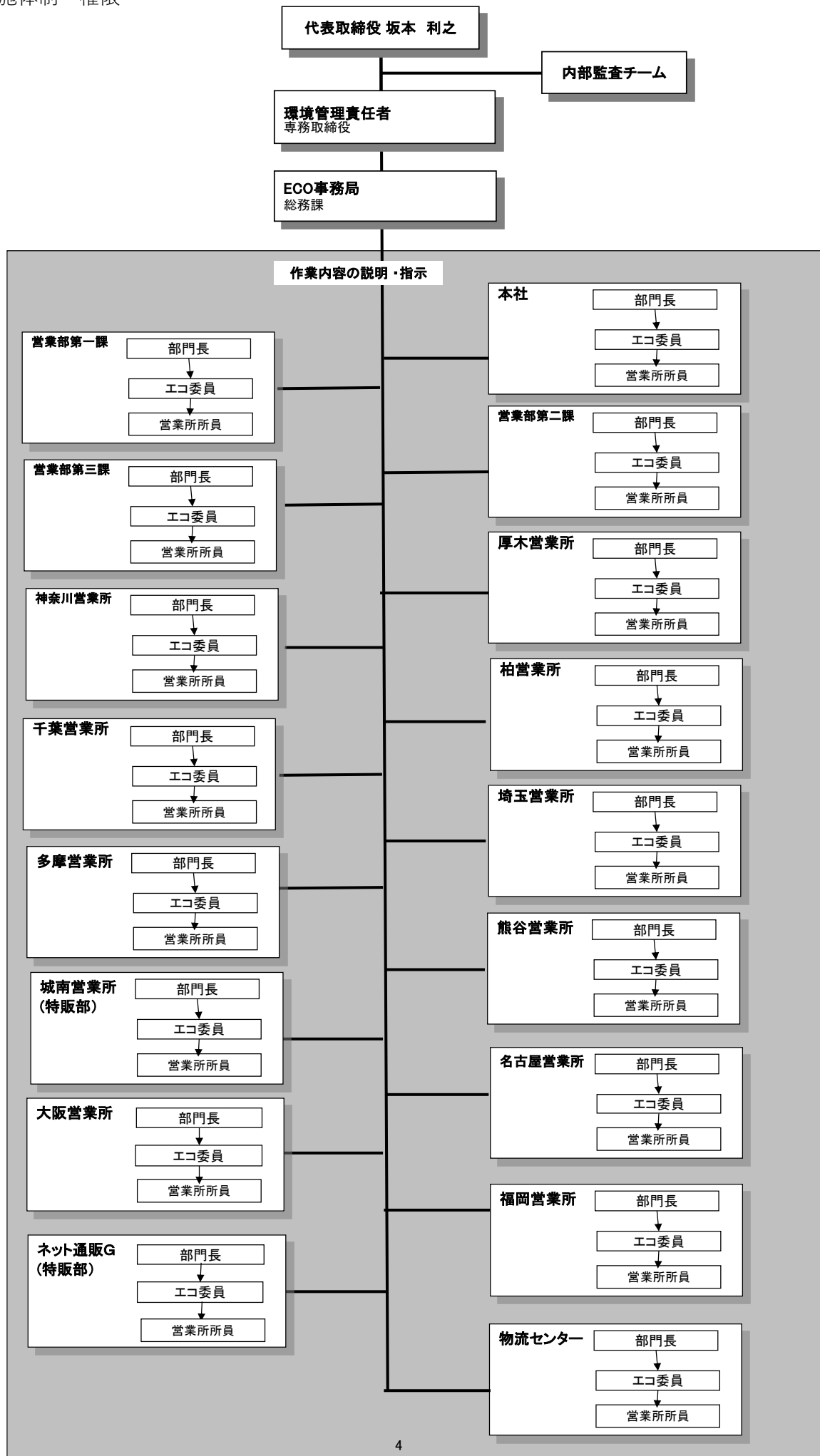
2. 組織概要

- 
- 1、 名称 株式会社 タニックス
 - 2、 設立 1961年4月25日
 - 3、 住所 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1番地9の2 住友不動産神田和泉町ビル
 - 4、 連絡先 03-6807-0761
 - 5、 代表者 代表取締役 坂本 利之
 - 6、 事業内容 包装・梱包・物流システムに関わる資材・機器・機械及び合成樹脂製品類の販売・レンタル、
コンビニエンスストア向け設備機器・什器類の販売、インターネットなどを利用した
通信販売業
 - 7、 従業員数 139名
 - 8、 対象事業所（全事業所）※ビル名は省略

- ・ 本社 東京都千代田区神田和泉町1番地9の2
- ・ 営業部第一課 東京都江東区亀戸6-41-12
- ・ 営業部第二課 東京都江東区亀戸6-41-12
- ・ 営業部第三課 東京都江東区亀戸6-41-12
- ・ 城南営業所 東京都江東区亀戸6-41-12
- ・ ネット通販グループ 東京都江東区亀戸6-41-12
- ・ 多摩営業所 東京都八王子市横山町25-6
- ・ 神奈川営業所 神奈川県川崎市川崎区南町1-1
- ・ 厚木営業所 神奈川県厚木市中町3-11-18
- ・ 千葉営業所 千葉県千葉市中央区富士見1-15-9
- ・ 柏営業所 千葉県柏市末広町7-3
- ・ 埼玉営業所 埼玉県さいたま市大宮区宮町1-114-1
- ・ 熊谷営業所 埼玉県熊谷市筑波2-48-1
- ・ 名古屋営業所 愛知県名古屋市中区錦1-13-26
- ・ 大阪営業所 大阪府大阪市中央区平野町3-2-13
- ・ 福岡営業所 福岡県福岡市博多区博多駅前1-14-16
- ・ 物流センター 神奈川県横浜市中区南本牧3-9

- 9、 環境管理責任者 専務取締役 高橋 英典

3. 実施体制・権限



役割、責任及び権限表

部門等	責任者	主な役割、責任および権限
代表者	代表取締役 坂本 利之	環境方針の制定 環境管理責任者の任命 環境経営システムを確立し、実施し、維持し、改善するために不可欠な 経営資源を確実に利用できるようにする 環境経営システム内部監査プログラムの承認 環境経営レビュー（エコアクション2.1全体の評価と見直し） 経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	専務取締役 高橋 英典	環境経営システムの確立、実施、維持 環境方針の役員、社員、及び当社で働く全ての人への周知 環境関連法規等登録の承認、周知、レビュー 環境目標の承認、周知、レビュー 環境活動計画書の承認、周知、進捗状況の確認、レビュー 環境教育・研修実施計画の承認 環境経営システム・マニュアル等の承認・廃止、レビュー 顕在する問題点の是正処置結果、及び、潜在する問題点の予防処置結果の承認 環境外部・内部情報取扱の決定、環境外部情報の対応方法の検討、対応結果の確認 内部監査総責任者、及び内部環境監査員の任命 環境経営レビュー（エコアクション2.1全体の評価と見直し） 必要な情報を社長への報告
E C O事務局	総務課	環境方針（案）の立案 環境への負荷と取組状況の把握及び評価 環境関連法規等の情報収集、確認、管理 全体の環境目標の立案 全部門共通の環境目標に関する環境活動計画書の立案・推進・管理 一般教育・研修実施計画の作成・推進、一般教育・研修の実施 特定教育・研修実施計画の作成・推進、特定教育・研修の実施 環境経営システム・マニュアル等の作成、改定、保管 全体の環境目標の進捗状況の管理と問題点の是正 環境関連法規等順守状況の管理と問題点の是正 環境マネジメントシステム内部監査指摘事項の是正
各 部 門	部門長 （環境管理委員会委員） （各部門推進責任者）	各部門個別の環境目標に関する環境活動計画書の立案、推進、管理 一般教育・研修の実施 エコ委員（実施責任者）の任命 緊急事態発生時の通報 各部門の環境目標の進捗状況の管理 環境経営システム内部監査指摘事項の是正 社員等への環境保全活動実施指示
	エコ委員 （実施責任者）	環境経営システムの円滑な運営のためのE C O事務局への協力 各部門における環境経営システム活動の実施・推進 環境に関する各種情報の部門内への広報
	責任者	環境活動計画書の個別の「具体的方法」の実施・推進
	所員	決められた目標の推進及びルールの順守
環境経営システム 内部監査チーム	監査総責任者	環境経営システム内部監査プログラムの作成、通知 環境経営システム内部監査チェックリストの作成 環境経営システム内部監査の実施、結果の社長への報告
	各監査責任者	環境経営システム内部監査の実施、および監査総責任者への結果の伝達

4 - 2. 環境目標

環境方針	関連するSDGsカテゴリ	環境目標項目	担当部門	基準値 (2022年度)			年度毎目標					
							2023 年度		2024 年度		2025 年度	
二酸化炭素 排出量の削減	 	①電力使用量の削減	全部門	総使用量 247,123 kWh		基準年度比	2022年度実績の99% (一部実績計測)		前年度実績の99%		2023年度実績値の98%	
				全体 120,912 kg-CO2			136,730 Kwh		227,016 Kwh		— Kwh	
							57,845 kg-CO2		99,014 kg-CO2		— kg-CO2	
		②自動車燃料 (ガソリン)の削減	全部門 (本社・ネットを除く)	総使用量 59,696 ℓ		基準年度比	2022年度実績の99% (増加分考慮)		前年度実績の99% (増加分考慮)		前年度実績の99% (増加分考慮)	
				全体 138,495 kg-CO2			146,655 kg-CO2		140,753 kg-CO2		— kg-CO2	
二酸化炭素排出総量(①+②)				259,407 kg-CO2		総量 目標値	—		—		—	
水使用量の削減		水道水の節水	亀戸ビル部門	総排水量	454 m³	基準年度比	実績計測		前年実績の99%		2023年度実績の98%	
						目標値	— m³		276 m³		— m³	
廃棄物の削減		事業系一般廃棄物 排出量の削減	全部門	全体総量	4,381 kg	基準年度比	実績計測		—		—	
		* 2023年5月～9月		目標値	—		—		—			
		事業系一般廃棄物の 適切な処理				基準年度比	—		—		—	
						目標値	ごみ分別の徹底		ごみ分別の徹底		ごみ分別の徹底	
		産業廃棄物の適切な処理				基準年度比	—		—		—	
				目標値	産業廃棄物管理票 (マニフェスト)の順守		産業廃棄物管理票 (マニフェスト)の順守		産業廃棄物管理票 (マニフェスト)の順守			
グリーン購入	 	グリーン購入の推進 (事務用品)	全部門	—		基準年度比	—		—		—	
						目標値	グリーン購入を推進する		グリーン購入を推進する		グリーン購入を推進する	
環境配慮型商品 の販売		エコ商品の販売	全部門 (本社・物流を除く)	全社****千円		基準年度比	実績計測 (エコ商品)		実績計測 (グリーン商品)		前年度実績の101%UP	
						目標値	— 千円		— 千円		— 千円	
その他	 	業務改善	物流	—		整理・整頓・清掃を徹底し、業務の効率化と事故防止に努める						
			全部門	—		エコドライブと事故防止に努める						
								環境目標に関わる教育・啓蒙活動を推進する				

【注意】

*化学物質は使用していないため、目標設定しておりません。

*水使用量はビル一元管理で数量把握困難のため、目標設定は一部部門のみとしております。

*エコ商品の販売実績は社外秘につき非公開としております。

部門	電力排出係数(kg-CO2/kwh)
本社、営業部、城南、ネットG	0.451
神奈川、厚木、埼玉、熊谷	0.451
千葉	0.362
柏	0.338
多摩	0.653
名古屋	0.382
大阪	0.309
福岡	0.382

5. 環境目標の実績

環境方針	環境目標項目	担当部門		目標	実績	基準値 増減比較（％）
				2023 年度	2023 年度	
二酸化炭素 排出量の削減	①電力使用量の削減	全部門	基準年度比	2022年度実績値の99%	100.5%	0.5％増
			目標値	57,845 kg-CO2	58,131 kg-CO2	
	②自動車燃料（ガソリン）の削減	全部門 （本社・ネット を除く）	基準年度比	前年度実績の99% （増車分考慮）	92.2%	7.8％減
			目標値	146,655 kg-CO2	135,171 kg-CO2	
	二酸化炭素排出総量①＋②		総量目標値	204,500 kg-CO2	193,302 kg-CO2	5.5％減
水使用量の削 減	水道水の節水	本社ビル内部門	基準年度比	実績計測	実績計測	実績 把握
			目標値	－ m ³	279 m ³	
廃棄物の削減	事業系一般廃棄物の削減	全部門	基準年度比	実績計測	実績計測	実績 把握
			目標値	－ kg	11,585 kg	
	産業廃棄物の適切な処理		基準年度比	－	－	－
			目標値	産業廃棄物管理票 （マニフェスト）の順守	産業廃棄物管理票 （マニフェスト）の順守	
グリーン購入	グリーン購入の推進 （事務用品）	全部門	基準年度比	－	－	－
			目標値	グリーン購入を推進する	グリーン購入を推進	
環境配慮型商 品の販売	エコ商品の販売	全部門 （本社・物流を 除く）	基準年度比	実績計測 （エコ商品）	－	実績 把握
			目標値	**** 千円	**** 千円	
その他	業務改善	物流	整理・整頓・清掃を徹底し、業務の効率化と事故防止に努める			
		全部門	エコドライブと事故防止に努める			
			環境目標に関わる教育・啓蒙活動を推進する			

【注意】

*化学物質は使用していないため、目標設定しておりません。

*事業系一般廃棄物排出量は年度途中の2023年5月より計測を開始致しました。年度の起算日は10月～翌年9月です。（2023年5月～9月までの排出量：5,244kg（参考値））

*水使用量はビル一元管理で数量把握困難のため、目標設定は一部部門のみとしております。

*エコ商品の販売実績は社外秘につき非公開としております。

6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組

環境方針	環境目標	担当部門	環境計画	結果	取組み	
					評価	次年度の内容
二酸化炭素排出量の削減	①電力使用量の削減	全部門	- 接客、打合せ等で離席をする際は、パソコンのディスプレイの電源を落とす - 服装の工夫（例：クールビズ）で冷暖房の使用を抑制 - 扇風機やハイブリッドファン、ブラインド等を活用	△	結果はほぼ横ばいでした。次年度も可能な限り節電を心掛けます。	引き続き節電対策を継続します。
	②自動車燃料（ガソリン）の削減	全部門（本社・ネットを除く）	- エコドライブに努める - 運転者は効率の良い活動範囲で自動車の運転を行う 6ヵ月毎に車両整備点検を受ける	○	目標達成。エコカー導入が進み、安全性能の向上も図れていますので、今後も効果が期待できると思います。	交通事故防止のための社員への情報発信と、車両点検漏れが無いよう徹底します。
水使用量の削減	水道水の節水	本社ビル内部門	- 節水の励行 - 手洗い時などに水を出したままにしない - 節水に努めるよう呼びかけを行う	—	実績を把握しました。引き続き、節水を心掛けます。	引き続き節水に努めます。
廃棄物の削減	事業系一般廃棄物の削減	全部門	- ゴミの分別の徹底 - 排出量の計測（2023年5月～開始） - コピー印刷前プレビュー、用紙の両面印刷、縮小化を励行する	—	実績を把握しました。ゴミ分別の徹底に努めます。	次年度は定性的目標とし、ゴミ分別の徹底に努めます。
	産業廃棄物の適切な処理		産業廃棄物管理票（マニフェスト）の順守	—	運用ルールも浸透し概ね問題ありません。	引き続き継続します。
グリーン購入	グリーン購入の推進（事務用品）	全部門	- グリーン購入対象品目調査 - 環境に配慮した物品等の購入	—	運用ルールも浸透し概ね問題ありません。	引き続き、グリーン購入を推進します。
環境配慮型商品の販売	エコ商品の販売	全部門（本社・物流を除く）	当社が取引先に販売する商品で、以下の条件を満たしている商品の販売促進 - エコマーク認定商品 - グリーン購入法に適合している商品 - メーカーが環境配慮型としている商品で当社が認めた商品 - 当社が取引先へレンタルする包装機器、物流機器、店舗什器などのレンタル	—	実績を把握しました。環境配慮型商品の拡販に努めます。	次年度は対象をエコ商品からグリーン商品へ変更し実績計測とします。
その他	業務改善	物流	状況をエコ会議にて確認し3ヶ月に1度ECO事務局へ報告	—	事故無く無事に年度を終える事が出来ました。来期も整理整頓を実施し安全第一で作業を行います。	引き続きテーマを推進し事故防止と社内教育等に努めます。
		全部門	エコドライブと事故防止に努める	—	エコドライブは推進出来ております。引き続き事故防止に努めます。	
			環境目標に関わる教育・啓蒙活動を推進する	—	より浸透するよう継続的な呼びかけを図ります。	

7. SDGsの取組

株式会社タニックス 2025年のGOALに向けた事業活動「SPEC200!!」

私たちは、自社スローガンである「SPEC200!!」の事業活動を通じて、
国際的な枠組みである「SDGs」の目標達成に貢献します。

Sales Up

成長戦略実現により2025年
売上200億円達成

Performance Up

一人ひとりの、また、その
集合体である組織としての
パフォーマンスの向上

Employee Satisfaction Up

従業員の働く意欲向上のため
の就労環境の充実化

Customer Satisfaction Up

皆様にご満足いただける
企業を目指す

- ・エリア拡大戦略
- ・ECサイトの強化
- ・環境プロジェクト『T-Green発足』
- ・社用車の低燃費化推進



- ・研修 教育
- ・表彰 評価
- ・資格取得支援
- ・女性社員のキャリア形成支援



- ・従業員を守る
- ・従業員の生活支援
- ・働き方改革の推進



- ・BCP対策
- ・エコアクション21の取組
- ・優良申告法人
- ・サステナビリティ調査



「SPEC200!!」と関連するSDGs目標と当社の主な取組

8. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連法規等について確認及び評価した結果、特に問題はありませんでした。

また、関係当局からの違反などの指摘・訴訟は過去3年間ありません。

主要な法令▼

環境関連法規	要求事項	確認
廃棄物処理法	・産業廃棄物管理票 ・産業廃棄物収集運搬の許可を持つ業者に委託	○
フロン排出抑制法	・第一種フロン類引渡受託者 再委託承諾書の事前受領 委託確認書の回付・保存 引取証明書の保存 ・第一種特定製品の管理者 3月に1回以上、管理第一種特定製品について簡易点検を行う	○
毒物及び劇物取締法	・販売業の登録義務 ・事業所ごとの登録義務、及び更新義務 ・販売業の登録種類	○

9. 代表者による全体の評価と見直し

2023年度はエコカー導入を継続しつつ、安全運転と車両の定期点検を徹底することで、事故防止に努めた結果、ガソリン使用量の削減目標達成に寄与することが出来ました。

次年度より、新たな取り組みとして、グリーン商品の拡販がスタートするため、新入社員への教育フォローと育成に注力しつつ、これまでに培った提案力の底上げに期待します。

今後も、当社の環境負荷低減活動が十分なレベルを維持できるよう、継続的改善を図ることとします。

以上